

| | | | | | | | | | |
|-------|----------------|----|-------|--------|-------------------|----|-----|-----|--|
| 教科 | 国語 | 科目 | 現代の国語 | 単位数 | 2 単位 | 学年 | 1 年 | コース | |
| 使用教科書 | 数研出版『新編 現代の国語』 | | | 使用副教材等 | 尚文出版『常用漢字 ダブルクリア』 | | | | |

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 目標 | 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、以下の育成を目指す。①実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。②論理的に考える力や共感したり想像したりする力を深め、他者との関わりの中で自分の考えを伝え合う力を高める。③生涯にわたって読書に親しみ、言葉を通して他者と社会に関わろうとする態度を養う。 | | |
| 評価の観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| | 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 | 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。 |
| 評価方法 | ・単元テスト[60%] ・課題テスト[20%] ・成果物(言語活動等)[20%] | ・単元テスト[60%] ・成果物(言語活動・調べたり考えたりしたことのみ等)[40%] | ・振り返りシート[60%] ・自主学ノート等の取り組み(意味調べやテスト勉強等)[40%] |

| | |
|-------------|--|
| 担当者からのメッセージ | この科目は、「読むこと」に比べて「話すこと・聞くこと」「書くこと」の時間が多く設けられており、特に表現力の育成に重点が置かれています。将来、他者と関わりながらよりよい人生を送るために必要とされる力を身に付け、さらにその力を実際に使えるようにするための科目です。粘り強い姿勢で学習に取り組んでください。 |
|-------------|--|

| 学期 | 月 | 学習内容 学習のねらい | 観点別評価規準 |
|----|--|---|--|
| 1 | 4・5 | ◎ 書き手の意図をつかむ ・『目指す世界の地図を作る』 ↓ <u>自分の進路について広い視野を持って学びを深める</u> | 【知識・技能】話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意図や表現上の工夫を的確に読み取り、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。 |
| | | ・〈チェックポイント1〉わかりやすく話す | 【知識・技能】話し言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解している。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、情報を整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】粘り強く表現を工夫し、学習を生かしてわかりやすく説明しようとしている。 |
| | ・〈チェックポイント2〉メモをとりながら聞く | 【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴を踏まえ、分かりやすさに配慮した表現について理解している。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】話し言葉と書き言葉について理解を深め、学習課題に沿って聞き取るようとしている。 | |
| | ◎ 日常の中の文章 ・写真を文章で説明する ↓ <u>写真の表す事実や、その事実をもとに推察したことを文章で表現する方法を習得する</u> | 【知識・技能】書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解し、使っている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の考えや事柄を的確に伝えるよう、根拠の示し方や説明の仕方をもとに、文章の種類や、文体、語句などの表現の工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】課題資料が示す内容を積極的に読み取り、読み手に伝わりやすい表現を工夫して、学習課題に沿って説明しようとしている。 | |
| 6 | ◎ 日常の中の文章 ・広告コピーを書く ↓ <u>言葉に対する感性を磨くとともに、言葉の送り手を受けてのコミュニケーションのあり方を考える</u> | 【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】課題資料を参考にしながら、伝わりやすい形式・表現を積極的に工夫し、学習課題に沿って適切に広告コピーを作成しようとしている。 | |
| | ◎ 対比を読み取る ・『里山物語』 ↓ <u>二項対立をとらえつつ、人間と自然の関係について考える</u> | 【知識・技能】比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の主張を粘り強く読み解いて自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。 | |
| 7 | ◎ 社会の中の文章 ・課題を発見し解決策を発表する ↓ <u>世界の複雑さと向き合うことで、「課題の発見」につながる「自分の中のわかつたつもり」を見つける</u> | 【知識・技能】文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】課題資料の内容を積極的に読み取り、学習課題に沿って適切に要約しようとしている。 | |

| | | |
|----|---|--|
| 9 | <p>◎ コミュニケーションと言葉 ・『世間話はなぜするか』 ↓ <u>人間関係を豊かにするコミュニケーションについて学び、言葉の大切さをあらためて認識する</u></p> | <p>【知識・技能】実社会において理解したり表現したりするために必要な語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】具体的な事例について筆者の主張をもとに粘り強く考察し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。</p> |
| | <p>◎ コミュニケーションと言葉 ・非言語コミュニケーション ↓ <u>非言語コミュニケーションが、コミュニケーション上重要な役割を果たしていることに気づき、そのあり方について、自分の考えを深める</u></p> | <p>【知識・技能】個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、目的に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意見を踏まえて積極的に具体的な事例を考え、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p> |
| | <p>◎ 話し言葉の技術 ・ディベート・討議 ↓ <u>文化や価値観が異なる人々との共通理解を育む手腕を身につける</u></p> | <p>【知識・技能】推論の仕方を理解し使っている。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】ディベートにおける論理の一貫性について進んで検討しようとし、自分の考え方について振り返り、積極的に話し合おうとしている。</p> |
| | <p>◎ 言葉の働きをとらえる ・『コインは円形か』 ↓ <u>人間の認識の一面性や有限性をどのように打開するかということ、さらに、ものを見方を変える必要があるということを実感する</u></p> | <p>【知識・技能】言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意見や【例】を参考にしながら積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p> |
| 12 | <p>・〈チェックポイント6〉 根拠の妥当性を説明する</p> | <p>【知識・技能】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方を考えるとともに、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】解説内容を粘り強く理解し、論証の仕方について学習課題に沿って考えようとしている。</p> |
| | <p>◎ 根拠を読み取る ・『「差」という情報』 ↓ <u>文章の展開の巧みさ、面白さを味わい、文章表現の技術を向上させる</u></p> | <p>【知識・技能】主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】筆者の意見を踏まえて積極的に自分の考えを深め、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。</p> |
| 3 | <p>◎ 書き言葉の技術 ・意見文を書く ↓ <u>文章構成を意識し、他者に自分の意見を納得してもらえ文章を書く力をつける</u></p> | <p>【知識・技能】引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 【思考・判断・表現】「書くこと」において、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように表現や構成を工夫し、学習課題に沿って意見文を書こうとしている。</p> |
| | <p>◎ 話し言葉の技術 ・スピーチ ↓ <u>自分をしっかり表現することで、自分自身を見つめ直したり、他者から刺激を受けたりして、自分が変わる契機とする</u></p> | <p>【知識・技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】「話すこと・聞くこと」において、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】相手に伝わるスピーチの仕方について粘り強く検討し、学習課題に沿って適切に話したり聞いたりしようとしている。</p> |